

2021 2022
October-March
News Letter

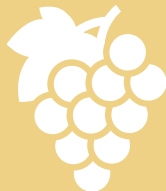


も く じ

もくじ	02
学生挨拶	03
新！局長 & 副局長の紹介	04
ログハウスでの生活に密着！	06
藍染体験イベント	08
ブドウの成長	10
クリスマスイルミネーション	11
夏ミカンでジェル作り	12
養蜂局	14
白百合醸造 フィールドワーク	16
ミニ報告	18
ガーデンパーティーのお知らせ・あとがき ...	19



学生挨拶



学生統括 新3年小西俊太郎



学生統括の小西です。
大学のキャンパスから「千葉県市川市産ブドウ100%の日本ワインを作ること」にこだわり既成の枠を超えた試みにチャレンジしています。2021年は先の見通しが見えない中で、ブドウの収穫ができなかったりうまくいかず悩んだりしました。今年度こそ、苦勞の壁を乗り越えてきたという私達の「思い」が詰まった第一号のワインを作りたいです。ワインをキーワードとしてメンバーが成長していく活動を目指します。応援よろしくお願いいたします。

学生副統括 新3年熊谷春菜



学生副統括の熊谷です。
活動4年目を迎えたワインプロジェクトですが、今年はずいに第一号となるワインが完成する予定です。そんな記念すべき年に活動できることに感謝しています。このワインの完成が今後何十年と続くプロジェクトの良いスタートとなれるよう、栽培はもちろん外部に向けた取り組みや新たな挑戦もしていきます。ブドウが成長するように私たちもメンバーと共に成長し、支援者の皆様の期待に応えたいと思います。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



学生副統括 新2年犬飼拓真



今年度の副統括を務めさせていただきます。人間社会学部人間社会学科犬飼拓真です。まず初めに、クラウドファンディングの支援者様方、ワインプロジェクトを支援してくださり、ありがとうございます。今年度は、100周年に向けてのワインのブドウの育成や、今年度から養蜂が始まります。新しい事ばかりですが、新一年生とともに全力でワインプロジェクトを盛り上げて行きたいと思います。これからのワインプロジェクトにご支援とご協力のほどをよろしくお願いいたします。



新！局長&副局長の紹介

2022年度の各局の局長と副局長が決定いたしました。
ワインPJのこと、個人的なことなど聞いてみました！

総務局長

せき まい

関 真依

出身：栃木

性格：真面目

趣味：絵を描くこと、散歩
写真、スポーツ

意気込み：PJに参加してよ
かったと思ってもらえるよう
な活動にしていきたいです！



総務副局長

ねもと すずみ

根本 紗実

出身：千葉

性格：気分屋

趣味：ライブに行くこと

意気込み：ワインPJには優秀
な人がたくさんいるのでその
サポートができるように頑張
ります！



広報局長

しのぎ せいな

篠崎 聖奈

出身：茨城

性格：幼稚

趣味：ライブに行くこと
パフェを食べること

意気込み：たくさんの方に
ワインPJを知っていただけ
るよう広報活動頑張ります



養蜂局長

あさみ のえ

浅見 乃絵

出身：福島

性格：適当

趣味：ゲーム

意気込み：地域との交流
を増やして、PJだけでなく
国府台の活性化を図っ
ていきたいです。



栽培局長

おちあいのぶつな

落合 信道

出身：東京

性格：世界感強め

趣味：植物を育てること
DIY

意気込み：多くの方が
行きたくなる畑を作っ
ていきたい。



広報&養蜂副局長

つきじ かほ

築地 夏帆

出身：静岡

性格：バサバサ系

趣味：テトちゃんのお世話
(ペットのヤモリ)

意気込み：局を兼任している
ので、どちらの局でも責任感
を持って頑張っていきます。



栽培&養蜂副局長

おかむら きょうしょう

岡村 京昇

出身：長野

性格：真面目

趣味：筋トレ

意気込み：イベント活動が再
開されていくと思うので、今
までできなかった分全力で頑
張りたいと思っています。



局長 & 副局長に聞いてみた！！

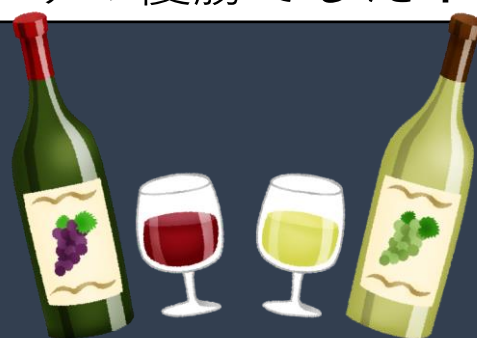
お酒が強そうな人ランキング！

1 落合 信道

2 築地 夏帆

3 篠崎 聖奈

1位の落合君はなんと5票で、ぶっちぎりの優勝でした！



好きな学食は？

〈UD〉 プルコギ丼、ハンバーガー、ドーナツ

〈満腹ダイニング〉 レバニラ丼

〈リコルド〉 唐揚げ丼(おろし醤油)、温玉そば

もし他の局の局長になれるなら？

関：栽培局。ログハウスを守りたいから！

根本：広報局。SNSに個人的な日記とか書いて局員を困らせたい。

落合：総務局。大量にアイデアを出し合ってみたい。

浅見：栽培局。仕事が多いから。

岡村：局長は…なりたくないです。サポートするくらいの方が動きやすいので。

築地：どこも仕事が大変そうなので移動したくありません。

篠崎：栽培局。畑を綺麗なお花畑にしたい♡

ログハウスでの生活に密着



ログハウスには、個性のある
いろんな人達が遊びに来ます。
今回はその中から学生5人を
ピックアップし、ログハウス
での生活について答えてもら
いました！



人間社会学部2年
藤澤知希

私がログハウスにいる時にしているこ
とは、同学年の友人や先輩方とのコミ
ュニケーションです。

ログハウスは色々な人が利用している
ため、コミュニケーションをとるには
最適な場所です！



人間社会学部2年
淡島夕媛

ログハウスでは、課題をやったりご飯
を食べたりしています！

先輩方や他の学部の人など、さまざま
な人たちと交流できるので、おすすめ
の授業や大学での過ごし方の情報を交
換することができます。



人間社会学部3年
小西俊太郎

朝早くからいつもログハウスでブドウを眺めながらオンライン授業をしています。

メンバーが来るときは話が夢中になりすぎて課題ができないことも笑
畑にいるだけで楽しすぎて学生生活をエンジョイしています！！



人間社会学部3年
篠崎聖奈

私はよくお昼ご飯を食べています。
ログハウスに行くとなすでに数人がくつろいでいて、みんなでワイワイとお昼休みを過ごしています。
ログハウスでは学年や局が違う人とも交流ができるためとても楽しいです！



人間社会学部3年
築地夏帆

ログハウスは居心地ばつぐん！
木々とブドウ畑に囲まれた空間は癒し
です！ログハウスの中でご飯を食べることが多いですが、天気が良い日はレ
ジャーシートを敷いて外で食べるこ
ともあります！またみんなとピクニック
したいです！！！！

ログハウスは、人を問わず誰でも気軽に行くことが出来ます。学校に来た際は是非足を運んでみてください！



藍染体験イベント

商大生と地域の小中学生、地域住民が繋がり、その関係を継続できる環境づくりを行うため、昨年11月13日に藍染体験イベントを実施しました。小学生とその親御さん20名、市川第二中学校の美術部の部員10名、プロジェクトメンバー15名、合わせて45名で行われました。

中学生が運営？

市川第二中学校の美術部の皆様が先生となり私達に藍染のやり方を教えていただきました。ビー玉、輪ゴムを使って模様ができるっていくことに参加者みんなで驚きました。



一人一人の形に

実際に体験してみて、最初は「どんな模様にしようか」と試行錯誤していました。同じ道具でも一人一人違う模様が染まり青空の下、白い布をきれいな青に染め上げました。



私達が思い描くこと

まだ計画段階ですが、実際に生の藍を植え、中学生と商大生で栽培した藍を元に生葉染め体験やまた違う視点を用いたワークショップを行い、地域の子どもたちとアイデアを深められるようなイベントを考えていきたいです。





ブドウの成長



10月～12月

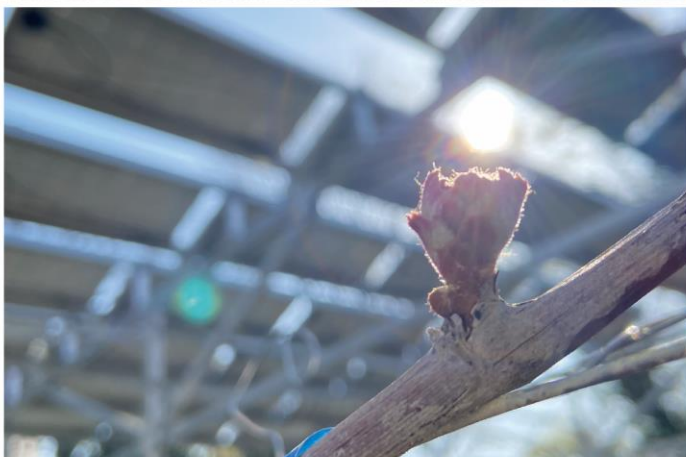
秋にかけて葉っぱが茶色に色づき衣替えの季節がやってきました。

これから寒さが増していきます。ブドウ畑には少しずつ落ち葉が増えて冬に向けての準備中です。



1月～2月

冬になり水分の乏しい季節になりました。ブドウの葉はすべて落ち来年度の活躍に向けて準備を整えています。きっと良いブドウができることをメンバー異一同期待しています。



3月～4月

周りに桜が咲く頃、ブドウの木々から新芽が付き始めました。確実にブドウが成長している感触を肌で感じます。必ず今年こそブドウが収穫できるように育てていきたいです。

私達の想い 昨年度はたくさんのブドウが実り 250 房以上できました。収穫ができると、とても楽しみにしていましたが、台風による落下や食害によりブドウがほぼ全滅しワインを作ることができませんでした。今年こそ栽培局で栽培方法を模索し立派なブドウを育て第 1 号のワインを完成させたいです。

クリスマスイルミネーション

12/7 事前準備

総務局のメンバーが中心となり、クリスマスに向けて畑のログハウスにイルミネーションの装飾をしました！



12/9 点灯式

12/9にクリスマスイルミネーションの点灯式を行いました！

このイルミネーションは畑にあるソーラーパネルによって発電された電気を活用し、イルミネーション期間中は時間になると自動で点灯するようになっています。



夏みかんでジャムづくり

1/17 収穫



今年もCUCサポート前にはたくさんの夏みかんで出来ました。

昼休みの時間を使い、学生同士協力して収穫作業を行いました！



2/17・21 ジャム作り

大学の活動制限が「レベル3」に上がってしまい今年も学生がジャム作りを行うことはできず、CUCサポートの方々が作っていただきました。

作り方

- ①皮むき、実の取り出し、皮の内側のふわふわを取る
- ②皮の煮沸をする
- ③皮と実に三温糖を加え煮込む
- ④とろみがついたら完成！



180グラム、139個のジャムが完成しました！



ラベルデザイン

昨年引き続きジャムのラベルデザインは総務局の学生が担当しました。

メンバーを紹介します！

2年 関 真依

〈紺のラベル&メッセージカード担当〉

苦戦したこと：ラベルデザインは納得できるまで試行錯誤しました。メッセージカードのデザインも決められたサイズでどう見やすくできるかを工夫するのが難しかったです。

ひとこと：自分のデザインが形になり、多くの方に届けることができ良かったです!!また、ジャムを通じて私たちの活動を知ってもらおうことができた嬉しです！

2年 根本 紗実

〈ラベルデザイン責任者〉

苦戦したこと：CUCサポートさんとのメールのやりとりや会議の日程調整です。

ひとこと：様々な人たちの協力のおかげで思い入れのあるラベルが出来ました。制作に関わってくださった皆さん、本当にありがとうございます！

1年 矢吹 莉世

苦戦したこと：細かい作業が苦手なので、作業は少し大変でした。

ひとこと：とても美味しいジャムとなっています。是非食べてみてください！

1年 國藤 夢奈

〈透明なラベル担当〉

苦戦したこと：描いたデザインが透過されたあと、どのような感じになるのか分からなかったため、少し苦戦しました。また、印刷の際に白いインクが無く、想像通りの完成とはいかなかったため、この経験を来年に活かしたいです。

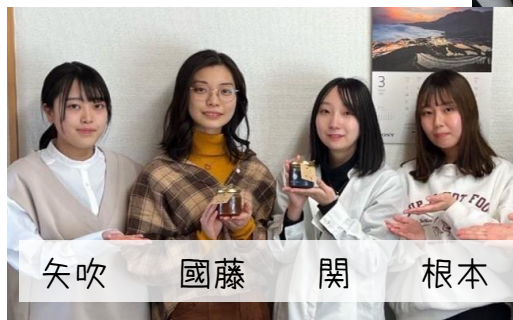
ひとこと：夏みかんジャム、美味しく食べていただけましたら幸いです！



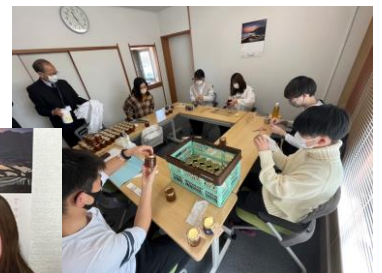
←メッセージカードには、総務局1年生のメッセージとSNSのQRコードを印刷しています。

関：紺色のラベルはジャムのオレンジを引き立たせ、紺色のリラックスさせる色彩効果を意識しました。

國藤：透明のラベルは中身の見やすさと夏らしさを意識しました。



矢吹 國藤 関 根本



ラベル貼り作業の様子



市川KUGURU展にて展示！

夏みかんジャムのお披露目とワインPJのTシャツの販売をしました。ジャムはとても好評でした。応援のお言葉もいただけてとても嬉しかったです。

ありがとうございました！



養蜂局

趣旨

近年、世界中の大都市でミツバチを飼育する「都市養蜂」が盛んになりました。東京では「銀座ミツバチプロジェクト」が16年前から皇居や日比谷公園、浜離宮などを蜜源として活動しています。一方で農業や環境変動などの影響が、ミツバチの数が大きく減少しています。

CUC100ワイン・プロジェクトでは、生物がもたらす恩恵を肌で感じ、草花に満ち溢れる環境づくりに取り組み、人間と自然の共生についての理解を多くの人と共有し、ワインプロジェクトの輪を更に広げていきたいと考えています。

概要

〈蜂〉

蜂の種類は西洋ミツバチであり、里見公園、じゅん菜池緑地、江戸川河川敷緑地などが蜜源になります。

〈ハチミツ〉

毎年4～8月頃が採取時期の為、月に2回程度、学生がハチミツを採取し、プロジェクト内で使うほか、CUCサポートが一般販売を行います。また、学生と菓子店とのコラボ商品の作成、飲食店での利用開拓等を進めます。

〈運営〉

「銀座ミツバチプロジェクト」の全面的支援を受け、日常の蜂の世話やハチミツの採集、商品化、販売企画などを行います。

名称

『国府台 bee Garden』

街の空をミツバチが安全・自由に飛び、
四季折々多くの草花で揺れる
人間と自然が融和した地域を創生する

起点として国府台 bee Garden Base1
by CUCが存在し、学校や企業、個人に広
げていきます。



ロゴ

全体的なモチーフは蜂の巣。巣の上の部分で高台である国府台をイメージし、下部分は江戸川の水面に反射しているというイメージを落とし込みました。「都市養蜂」「自然との共生」というメッセージを伝えられるよう、デザインしました。



ビオトープ

ミツバチの水飲み場として、日向と日陰にそれぞれ3つのビオトープを設置しました。ビオトープには水草や流木を入れ、ミツバチに適した環境を作っています。ボウフラの発生予防として、メダカを飼育しています。



放蜂式

3月28日に、1号館3階の屋外テラスで放蜂式を行いました。多くの御来賓の方々に足を運んで頂き、盛大な式となりました。蜂放の際には、千葉学園内田理事長、千葉商科大学原科学長、CUC100ワイン・プロジェクト統括小西俊太郎がテープカットを行い、蜂達が元気に空へ飛び立ちました。放蜂式後には、銀座ミツバチプロジェクト指導の下、学生が蜂の内検を行いました。学生にとってとても貴重な体験となりました。



SNS





2022/3/30

白百合醸造



フィールドワーク

山梨県甲州市勝沼町



3月30日、山梨県にある白百合醸造さんを訪問しました。ワインプロジェクト学生メンバー、教員、CUCサポート職員合わせて25名でのフィールドワークになりました。

ブドウを栽培している堀内さん宅と白百合醸造のブドウ畑を見学しました。堀内さんのブドウ畑は、CUC100ワイン・プロジェクトと同じく、ソーラーシェアリングを行っています。どちらの畑もブドウを栽培に適した土壌と気候であり、勝沼がワインの名産地であることが感じ取れました。



白百合醸造では、ワインの試飲も行いました。初めてワインを飲む学生も多く、ワインの味を知るきっかけとなりました。私たちも試飲したワインのような美味しいワインを作ります！お土産も沢山購入することができ、大満足の見学となりました。



勝沼にある宮光園にも見学に行きました。ワイン醸造や観光ブドウ園に関する膨大な資料から、ワインの歴史を学ぶことができました。建物の雰囲気もとてもよく、蔵の中は涼しく、快適に過ごすことができました。



約1年ぶりのフィールドワークになりました。コロナウイルスの影響で大変な状況の中、このような機会をつくってくださった、先生、CUCサポートの皆様には感謝しています。ブドウやワインについて知識を蓄えられただけでなく、メンバー同士の交流もできました。

人間社会学部3年 広報&養蜂副局長 築地夏帆



<17 ミニ報告(6)

統括



「いちカイギ」に参加しました！

栽培



第二農場の運用について検討中です！

総務



- ・イルミネーション点灯式
- ・夏みかんジャムの製造
- ・KUGURUマルシェへの出店を行いました。

広報



ワインプロジェクトの紹介・宣伝動画を作成しました！

その他



- ・ワインPJ全体総会を実施
- ・もみの木の植栽
- ・電気自動車の導入を行いました。

予告

ガーデンパーティーのお知らせ

大変長らくお待たせいたしました。

3年ぶりにガーデンパーティーを開催します！

以前とはメンバーも体制も大きく変わったワインプロジェクト。

一緒に交流してみませんか？

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日にち：6/18（土）

内容：各局紹介

体験を用いた交流など

※都合により中止、または内容が変更になる場合がございます。

あとかき

いつも応援していただきありがとうございます。

今回は「スタイリッシュなアルバム風」というコンセプトのもと8人のメンバーで作成してまいりました。いかがだったでしょうか。この機会にプロジェクトメンバーのリアルな学生生活やキャラクターを知っていただければ光栄です。

昨年度は、第一号のワインができなかったことなど様々な苦難がありました。それでもメンバー同士支え合い工夫しながら藍染体験や養蜂活動など新しい取り組みを行いました。「コロナだから…」とネガティブに捉えて活動を止めるのではなく、今だからこそできる新しく楽しい活動を行っていきたいと思います。

ワインプロジェクトは何年も続くプロジェクトです。

みなさまからのご声援が日々の活動への力になっています。

これからも温かい目で見守っていただけると幸いです。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

CUC100ワイン・プロジェクト 広報局長

人間社会学部3年

篠崎 聖奈



制作・発行 CUC100 ワイン・プロジェクト
印刷 CUC ドキュメントセンター
編集・企画 CUC100 ワイン・プロジェクト
篠崎聖奈 築地夏帆 小西俊太郎
大部祥平 川村錬 佐久間渚
谷口美波 湯浅太稀